



リベラル鈴鹿 森田 英治 議員

学校給食について

(質問) 庄内小学校の給食を給食センター方式に変更するに至った経緯と、検討された内容について。また、食材の価格について。

(答弁) 平成26年度から単独調理室の改修を行ってきているが、工事費が高騰しており、庄内小学校については、食数が少なく食材効率が低いため、輸送費や輸送時間などを検討した結果、

給食センター方式に変更することとした。

給食食材は、市で一括購入しているものと、野菜など、調理施設単位で購入しているものがある。給食費の食材の比率は、野菜が約13%、穀類が約22%、牛乳が約19%、その他約45%となっている。価格変動の激しい野菜については納入価格の調査を行い、価格差解消に向けて取り組んでいく。

その他の質問 ○道路の除雪について

緑風会 大杉 吉包 議員

産業政策について

(質問) 企業誘致の状況と誘致企業の内容について。(仮称)鈴鹿PAスマートIC周辺の土地利用について。

(答弁) 少子高齢化の進展する中、企業誘致は重要であり、地域経済の活性化は税収の増加、ひいては市民サービスの充実につながる。市長自らが企業訪問することで、食品加工会社をはじめ自動車関連部品会社など、2年間で10社以

上を誘致し、将来予想を含めて千人を超える雇用が見込まれる。

平成30年度、新名神高速道路の全線開通に伴い、椿地区まちづくり協議会を中心にインターチェンジ周辺のまちづくりについて説明し、土地地区画整理事業施工予定地18.4haの地権者に対しては運営方法や組合設立準備会の設立に向けて説明を行った。企業誘致については、環境負荷の少ない物流系や食品産業を考えている。

その他の質問

○高齢者福祉と2025年問題について

鈴鹿の風 永戸 孝之 議員

将来予測に基づく財政運営について

(質問) 財政を取り巻く課題が顕在化してきており、老朽化した公共施設の改修整備、また、人口減による市税の減少、社会保障費の拡大など、歳入、歳出への対応は必至である。この状況は全国の自治体でも同様であり、改革項目を掲げ、財政効果額目標を立て、財源確保に努力している。西東京市では、4年間で40億円を超える財政効果額実績がある。本市の財政計

画、効果額目標は。

(答弁) 前回の行財政改革では、計画期間内の財政計画上の歳出額が歳入額を上回ると予想される額を削減の目標値とし、改善を図るとともに、効果額の把握が可能な「財政改革分野」では、具体的な効果額目標を設定し、実績把握による効果額を算出することで、達成状況の判断材料としてきた。

今回の行財政改革においては、効果額目標の設定は行っていないが、将来負担比率の抑制を目標とし、推進を図っている。

自由民主党 鈴鹿市議団 森 喜代造 議員

武道の必修化について

(質問) 中学校における武道の現状、授業の取り組みと部活動、指導者について。

(答弁) 武道の目標として、1・2年生は技に取り組む楽しさや基本動作の習得、3年生は相手の動きの変化に応じた攻防を展開できるように定めている。本年度は、授業で柔道を選択している学校が1校、剣道が9校であり、学習時期

は12月から3月に計画し、武道週間を設けている。部活動については、10校のうち7校に武道部があり、134人が活動している。その中でも、剣道部は東海大会や全国大会に出場している。

また、武道の指導者として外部指導者を派遣しており、全ての部で有段者の教員や外部指導者が指導している。保健体育科教員の有段者の割合は約33%であることから、適正に配置されるよう県に要望していく。今後も、各中学校における武道の指導体制を支援していく。

その他の質問 ○シティセールスについて